



クライアントレス SSLVPN のカスタマイズ

- [クライアントレス SSL VPN エンド ユーザの設定 \(1 ページ\)](#)
- [ブックマーク ヘルプのカスタマイズ \(12 ページ\)](#)

クライアントレス SSL VPN エンド ユーザの設定

この項は、エンド ユーザのためにクライアントレス SSL VPN を設定するシステム管理者を対象にしています。ここでは、エンド ユーザ インターフェイスをカスタマイズする方法、およびリモート システムの設定要件と作業の概要を説明します。ユーザがクライアントレス SSL VPN の使用を開始するために、ユーザに伝える必要のある情報を明確にします。

エンド ユーザ インターフェイスの定義

クライアントレス SSL VPN エンド ユーザ インターフェイスは一連の HTML パネルから構成されています。ユーザは、ASA インターフェイスの IP アドレスを `https://address` 形式で入力することにより、クライアントレス SSL VPN にログインします。最初に表示されるパネルは、ログイン画面です。

クライアントレス SSL VPN ホーム ページの表示

ユーザがログインすると、ポータル ページが開きます。

ホームページには設定済みのクライアントレス SSL VPN 機能がすべて表示され、選択済みのロゴ、テキスト、および色が外観に反映されています。このサンプルホームページには、特定のファイル共有の指定機能以外のすべてのクライアントレス SSL VPN 機能が表示されています。ユーザはこのホームページを使用して、ネットワークのブラウズ、URL の入力、特定の Web サイトへのアクセス、および Application Access (ポート転送とスマート トンネル) による TCP アプリケーションへのアクセスを実行できます。

クライアントレス SSL VPN の [Application Access] パネルの表示

ポート転送またはスマート トンネルを開始するには、[Application Access] ボックスの [Go] ボタンをクリックします。[Application Access] ウィンドウが開き、このクライアントレス SSL

VPN 接続用に設定された TCP アプリケーションが表示されます。このパネルを開いたままでアプリケーションを使用する場合は、通常の方法でアプリケーションを起動します。

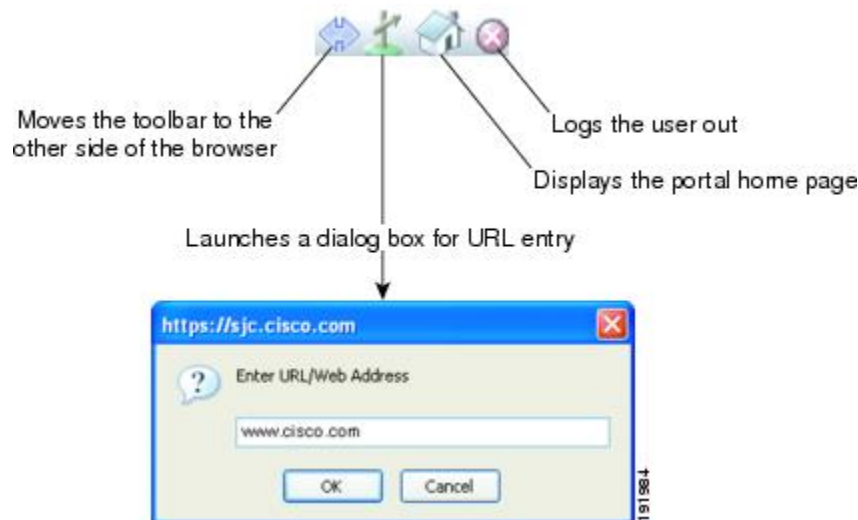


(注) ステートフル フェールオーバーでは、Application Access を使用して確立したセッションは保持されません。ユーザはフェールオーバー後に再接続する必要があります。

フローティング ツールバーの表示

次の図のフローティング ツールバーには、現在のクライアントレス SSL VPN セッションが表示されます。

図 1: クライアントレス SSL VPN フローティング ツールバー



フローティング ツールバーの次の特性に注意してください。

- ツールバーを使用して、メインのブラウザ ウィンドウに影響を与えずに、URL の入力、ファイルの場所のブラウズ、設定済み Web 接続の選択ができます。
- ポップアップをブロックするようにブラウザが設定されている場合、フローティングツールバーは表示できません。
- ツールバーを閉じると、クライアントレス SSL VPN セッションの終了を求めるメッセージが ASA によって表示されます。

クライアントレス SSL VPN ページのカスタマイズ

クライアントレス SSL VPN ユーザに表示されるポータル ページの外観を変えることができます。変更できる外観には、ユーザがセキュリティアプライアンスに接続するときに表示される [Login] ページ、セキュリティアプライアンスのユーザ認証後に表示される [Home] ページ、ユーザがアプリケーションを起動するときに表示される [Application Access] ウィンドウ、および

びユーザがクライアントレス SSL VPN セッションからログアウトするときに表示される [Logout] ページが含まれます。

ポータルページのカスタマイズ後は、このカスタマイゼーションを保存して、特定の接続プロファイル、グループポリシー、またはユーザに適用できます。ASA をリロードするまで、またはクライアントレス SSL をオフに切り替えてから再度イネーブルにするまで、変更は適用されません。

いくつものカスタマイゼーションオブジェクトを作成、保存して、個々のユーザまたはユーザグループに応じてポータルページの外観を変更するようにセキュリティ アプライアンスをイネーブル化できます。

カスタマイゼーションについて

ASA は、カスタマイゼーション オブジェクトを使用して、ユーザ画面の外観を定義します。カスタマイゼーション オブジェクトは、リモート ユーザに表示されるカスタマイズ可能なすべての画面項目に対する XML タグを含む XML ファイルからコンパイルされます。ASA ソフトウェアには、リモート PC にエクスポートできるカスタマイゼーションテンプレートが含まれています。このテンプレートを編集し、新しいカスタマイゼーションオブジェクトとして再び ASA にインポートできます。

カスタマイゼーション オブジェクトをエクスポートすると、XML タグを含む XML ファイルが、指定した URL に作成されます。カスタマイゼーション オブジェクトによって作成される *Template* という名前の XML ファイルには、空の XML タグが含まれており、新しいカスタマイゼーションオブジェクトを作成するための基礎として利用できます。このオブジェクトは、変更したりキャッシュメモリから削除したりすることはできませんが、エクスポートして編集し、新しいカスタマイゼーション オブジェクトとして再び ASA にインポートできます。

カスタマイゼーションオブジェクト、接続プロファイル、およびグループポリシー

ユーザが初めて接続するときには、接続プロファイル（トンネルグループ）で指定されたデフォルトのカスタマイゼーション オブジェクト (*DfltCustomization*) がログイン画面の表示方法を決定します。接続プロファイルリストがイネーブルになっている場合に、独自のカスタマイゼーションがある別のグループをユーザが選択すると、その新しいグループのカスタマイゼーション オブジェクトを反映して画面が変わります。

リモート ユーザが認証された後は、画面の外観は、そのグループポリシーにカスタマイゼーション オブジェクトが割り当てられているかどうかによって決まります。

カスタマイゼーションテンプレートのエクスポート

カスタマイゼーション オブジェクトをエクスポートすると、指定した URL に XML ファイルが作成されます。カスタマイゼーションテンプレート (*Template*) は、空の XML タグを含んでおり、新しいカスタマイゼーションオブジェクトを作成するためのベースになります。このオブジェクトは、変更したりキャッシュメモリから削除したりすることはできませんが、エクスポートして編集し、新しいカスタマイゼーション オブジェクトとして再び ASA にインポートできます。

手順

ステップ1 カスタマイゼーションオブジェクトをエクスポートし、XML タグを変更します。

export webvpn customization

ステップ2 ファイルを新しいオブジェクトとしてインポートします。

import webvpn customization

例：

次の例では、デフォルトのカスタマイゼーションオブジェクト (DfltCustomization) をエクスポートして、*dflt_custom* という名前の XML ファイルを作成します。

```
hostname# export webvpn customization DfltCustomization tftp://209.165.200.225/dflt_custom
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!INFO: Customization object 'DfltCustomization' was exported to
tftp://10.86.240.197/dflt_custom
hostname#
```

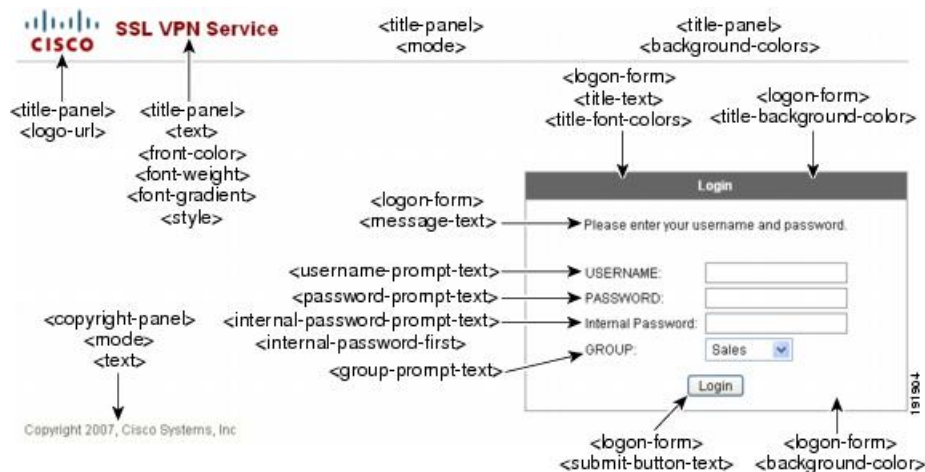
カスタマイゼーションテンプレートの編集

この項では、カスタマイゼーションテンプレートの内容を示して、便利な図を提供しています。これらを参照して、正しい XML タグをすばやく選択して、画面表示を変更できます。

テキストエディタまたは XML エディタを使用して、XML ファイルを編集できます。次の例は、カスタマイゼーションテンプレートの XML タグを示しています。一部の冗長タグは、見やすくするために削除してあります。

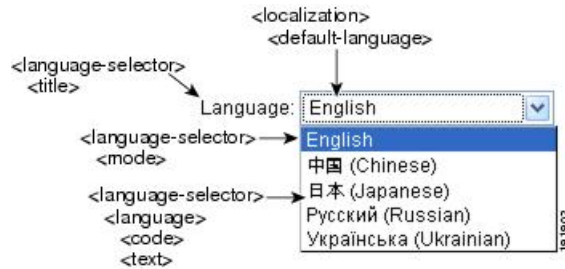
次の図に、[Login] ページとページをカスタマイズする XML タグを示します。これらのタグはすべて、上位レベルのタグ `<auth-page>` にネストされています。

図 2: [Login] ページと関連 XML タグ



次の図に、[Login] ページで使用可能な言語セクタ ドロップダウンリストと、この機能をカスタマイズするための XML タグを示します。これらのタグはすべて、上位レベルの <auth-page> タグにネストされています。

図 3: [Login] 画面の言語セクタと関連 XML タグ



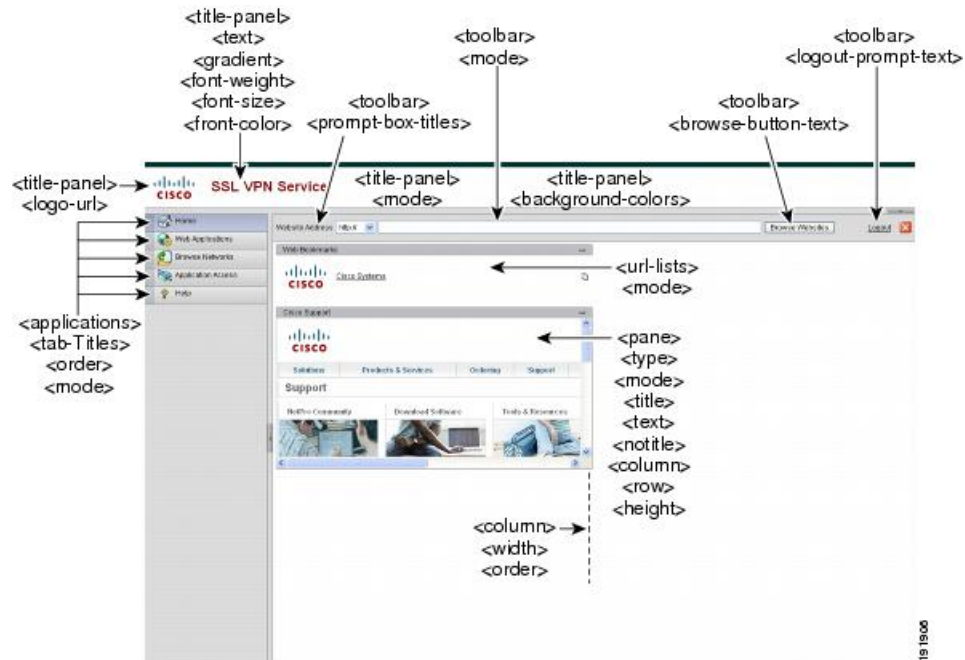
次の図に、[Login] ページで使用できる Information Panel とこの機能をカスタマイズするための XML タグを示します。この情報は [Login] ボックスの左側または右側に表示されます。これらのタグは、上位レベルの <auth-page> タグにネストされています。

図 4: [Login] 画面の [Information Panel] と関連 XML タグ



次の図に、ポータルページとこの機能をカスタマイズするための XML タグを示します。これらのタグは、上位レベルの <auth-page> タグにネストされています。

図 5: [Portal] ページと関連 XML タグ



カスタマイゼーションオブジェクトのインポート

XML ファイルを編集して保存したら、ASA のキャッシュメモリにインポートします。カスタマイゼーションオブジェクトをインポートするとき、ASA は XML コードの有効性をチェックします。コードが有効な場合、ASA はそのオブジェクトをキャッシュメモリ内の非表示の場所に保存します。

import webvpn customization

次の例では、カスタマイゼーションオブジェクト *General.xml* を 209.165.201.22/customization の URL からインポートして、*custom1* という名前を付けます。

```
hostname# import webvpn customization custom1
tftp://209.165.201.22/customization /General.xml
Accessing
tftp://209.165.201.22/customization/General.xml...!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
Writing file disk0:/csc0_config/97/custom1...
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
329994 bytes copied in 5.350 secs (65998 bytes/sec)
```

接続プロファイル、グループポリシー、およびユーザへのカスタマイゼーションの適用

カスタマイゼーションの作成後、**customization** コマンドを使用して、接続プロファイル（トンネルグループ）、グループ、またはユーザにそのカスタマイゼーションを適用できます。このコマンドで表示されるオプションは、使用中のモードによって異なります。



(注) ポータル ページのカスタマイズ後は、ASA をリロードするか、またはクライアントレス SSL をディセーブルにしてから再度イネーブルにするまで、変更は適用されません。

手順

ステップ 1 クライアントレス SSL VPN コンフィギュレーション モードに切り替えます。

webvpn

ステップ 2 トンネルグループ、グループポリシー、またはユーザ名のクライアントレス SSL VPN コンフィギュレーションに切り替えます。

tunnel-group webvpn または **group-policy webvpn** または **username webvpn**

ステップ 3 接続プロファイルにカスタマイゼーションを適用します。name は、接続プロファイルに適用するカスタマイゼーションの名前です。

customization name

または、カスタマイゼーションをグループまたはユーザに適用します。次のオプションが含まれます。

- **none** は、グループまたはユーザのカスタマイゼーションをディセーブルにして値が継承されないようにするオプションで、デフォルトのクライアントレス SSL VPN ページを表示します。
- **value name** は、グループまたはユーザのカスタマイゼーションの名前です。

例：

次の例では、トンネルグループクライアントレス SSL VPN コンフィギュレーション モードを開始し、接続プロファイル `cisco_telecommutes` に対してカスタマイゼーション `cisco` をイネーブルにします。

```
hostname(config)# tunnel-group cisco_telecommuters webvpn-attributes
hostname(tunnel-group-webvpn)# customization cisco
```

次の例では、グループポリシークライアントレス SSL VPN コンフィギュレーション モードを開始し、セキュリティアプライアンスにカスタマイゼーションのリストのクエリーを実行し、グループポリシー `cisco_sales` に対してカスタマイゼーション `cisco` をイネーブルにします。

```
hostname(config)# group-policy cisco_sales attributes
hostname(config-group-policy)# webvpn
hostname(config-username-webvpn)# customization value ?
config-username-webvpn mode commands/options:
Available configured customization profiles:
  DfltCustomization
  cisco
hostname(config-group-webvpn)#customization value cisco
```

次の例では、ユーザ名クライアントレス SSL VPN コンフィギュレーション モードを開始し、ユーザ `cisco_employee` に対してカスタマイゼーション `cisco` をイネーブルにします。

```
hostname(config)# username cisco_employee attributes
hostname(config-username)# webvpn
hostname(config-username-webvpn)#customization value cisco
```

ステップ 4 (任意) コンフィギュレーションからコマンドを削除して、接続プロファイルからカスタマイゼーションを削除します。

```
[no] customization name
```

ステップ 5 (任意) コンフィギュレーションからコマンドを削除して、デフォルトに戻します。

```
[no] customization {none | value name}
```

ステップ 6 既存のカスタマイゼーションのリストを表示します。

```
customization ?
```

ログイン画面の高度なカスタマイゼーション

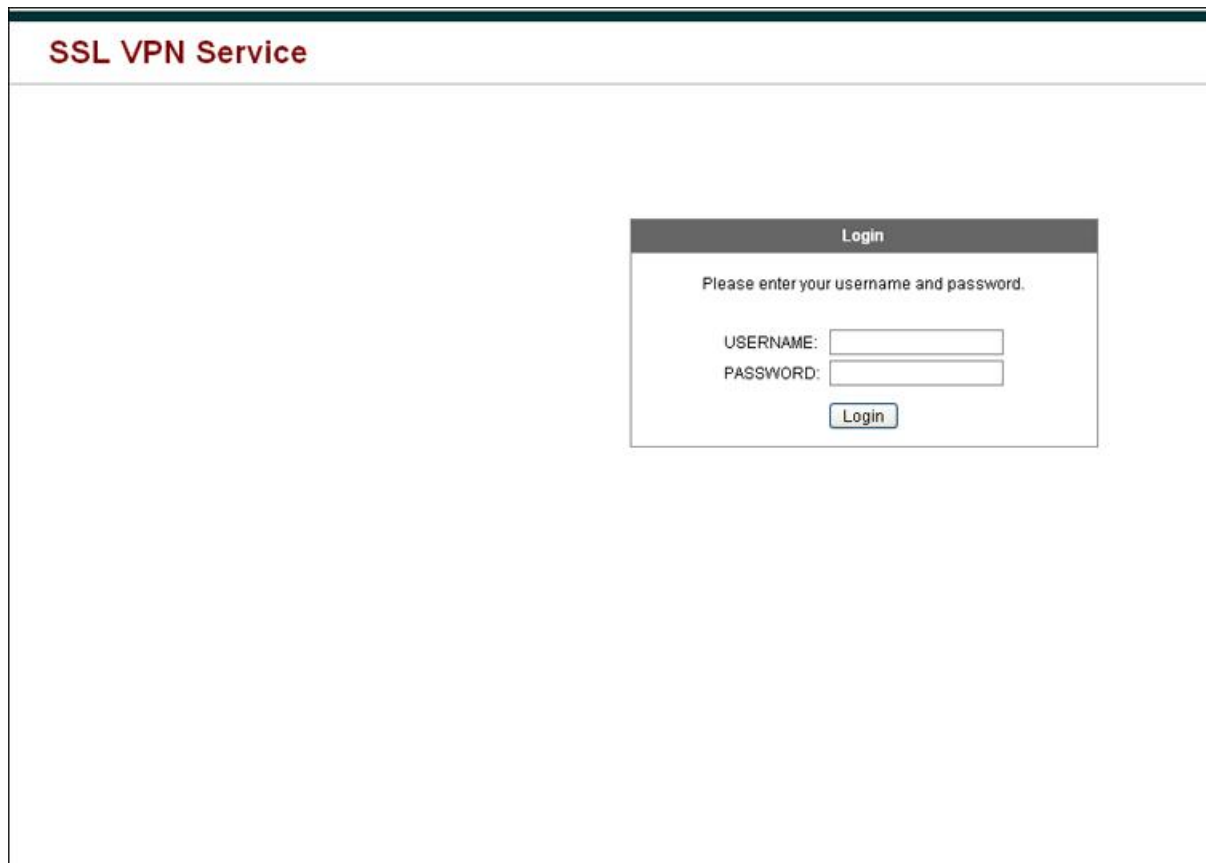
提供されるログイン画面の特定の画面要素を変更するのではなく、独自のカスタムログイン画面を使用する場合は、フルカスタマイゼーション機能を使用してこの高度なカスタマイゼーションを実行できます。

フルカスタマイゼーション機能を使用して、独自のログイン画面に HTML を配置し、ASA で関数を呼び出す Cisco HTML コードを挿入します。これにより、Login フォームと言語セレクトドロップダウンリストが作成されます。

この項では、独自の HTML コードを作成するために必要な修正、および ASA でユーザ独自のコードを使用するために設定する必要があるタスクについて説明します。

次の図に、クライアントレス SSL VPN ユーザに表示される標準の Cisco ログイン画面を示します。Login フォームは、HTML コードで呼び出す関数によって表示されます。

図 6: 標準の Cisco [Login] ページ



SSL VPN Service

Login

Please enter your username and password.

USERNAME:

PASSWORD:

Login

次の図に、[Language Selector] ドロップダウン リストを示します。この機能は、クライアントレス SSL VPN ユーザにはオプションとなっており、ログイン画面の HTML コード内の関数によっても呼び出されます。

図 7: 言語セレクト ドロップダウン リスト

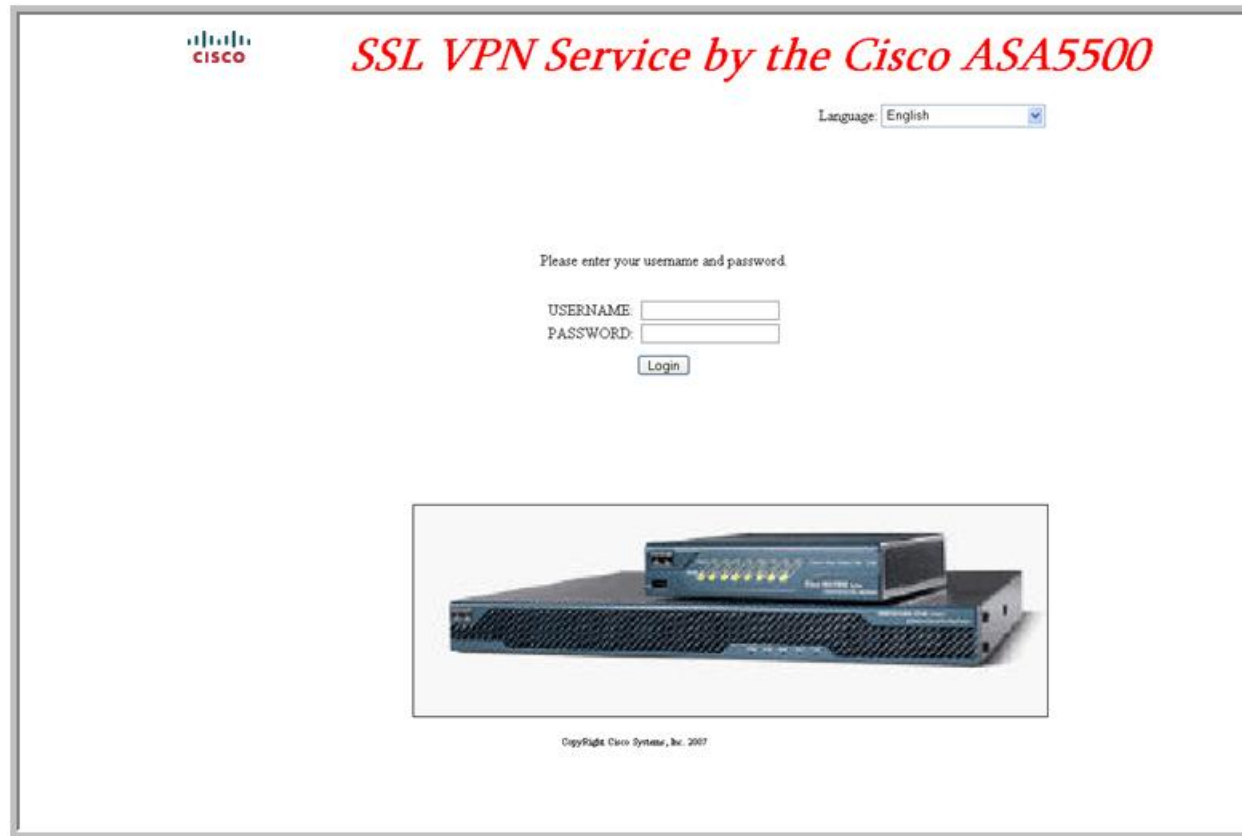


Languages English Spanish

191735

次の図に、フル カスタマイゼーション機能によって有効化される簡単なカスタム ログイン画面の例を示します。

図 8: ログイン画面のフル カスタマイゼーション例



次の HTML コードは例として使用され、表示するコードです。

```
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<title>New Page 3</title>
<base target="_self">
</head>

<p align="center">
<font face="Snap
ITC" size="6" color="#FF00FF">
</font><font face="Snap ITC" color="#FF00FF" size="7"> </font><i><b><font color="#FF0000"
size="7" face="Sylfaen"> SSL VPN Service by the Cisco ASA5500</font></b></i></p>

<body onload="csco_ShowLoginForm('lform');csco_ShowLanguageSelector('selector')">

<table>

<tr><td colspan=3 height=20 align=right><div id="selector" style="width:
300px"></div></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr>
<td height="379"></td>
<td height="379"></td>
<td align=middle valign=middle>
<div id=lform >
<p> </p>
```

```

<p> </p>
<p> </p>
<p>Loading...</p>
</div>
</td>
</tr>
<tr>
<td width="251"></td>
<td width="1"></td>
<td align=right valign=right width="800">

</td></tr>

</table>

```

字下げされたコードは、画面に Login フォームと言語セクタを挿入します。関数 **cscs_ShowLoginForm('lform')** はログオンフォームを挿入します。**cscs_ShowLanguageSelector('selector')** は言語セクタを挿入します。

HTML ファイルの変更

手順

ステップ 1 ファイルに `login.inc` という名前を付けます。ファイルをインポートすると、ASA はこのファイル名をログイン画面として認識します。

ステップ 2 このファイルで使用されるイメージのパスを変更して、`/+CSCOU+/` を含めます。

認証前にリモートユーザに表示するファイルは、パス `/+CSCOU+/` で表される ASA キャッシュメモリの特定の領域に配置する必要があります。そのため、このファイルにある各イメージのソースはこのパスに含める必要があります。

次に例を示します。

```
src="/+CSCOU+/asa5520.gif"
```

ステップ 3 下記の特別な HTML コードを挿入します。このコードには、Login フォームと言語セクタを画面に挿入する前述のシスコの関数が含まれています。

```

<body onload="cscs_ShowLoginForm('lform');cscs_ShowLanguageSelector('selector')">
<table>

<tr><td colspan=3 height=20 align=right><div id="selector" style="width:
300px"></div></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr>
<td height="379"></td>
<td height="379"></td>
<td align=middle valign=middle>
<div id=lform >
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p>Loading...</p>

```

```

</div>
</td>
</tr>
<tr>
<td width="251"></td>
<td width="1"></td>
<td align=right valign=right width="800">

</td></tr>

</table>

```

ブックマーク ヘルプのカスタマイズ

ASAは、選択された各ブックマークのアプリケーションパネルにヘルプの内容を表示します。これらのヘルプ ファイルをカスタマイズしたり、他の言語でヘルプ ファイルを作成したりできます。次に、後続のセッション中に表示するために、ファイルをフラッシュ メモリにインポートします。事前にインポートしたヘルプコンテンツファイルを取得して、変更し、フラッシュ メモリに再インポートすることもできます。

各アプリケーションのパネルには、事前に設定されたファイル名を使用して独自のヘルプファイル コンテンツが表示されます。今後、各ファイルは、ASA のフラッシュ メモリ内の `/+CSCOE+/help/language/` という URL に置かれます。次の表に、VPN セッション用に保守できる各ヘルプ ファイルの詳細を示します。

表 1: VPN アプリケーションのヘルプ ファイル

アプリケーションタイプ	パネル	セキュリティアプライアンスのフラッシュメモリ内のヘルプファイルの URL	シスコが提供するヘルプファイルに英語版があるか
規格	Application Access	<code>#CSCOE+/help/applicationaccess.jpg</code>	Yes
規格	Browse Networks	<code>#CSCOE+/help/networks.jpg</code>	Yes
規格	AnyConnect Client	<code>#CSCOE+/help/anyconnectclient.jpg</code>	Yes
規格	Web Access	<code>#CSCOE+/help/webaccess.jpg</code>	Yes
プラグイン	MetaFrame Access	<code>#CSCOE+/help/metaframeaccess.jpg</code>	未対応
プラグイン	Terminal Servers	<code>#CSCOE+/help/terminalservers.jpg</code>	Yes
プラグイン	Telnet/SSH Servers	<code>#CSCOE+/help/telnetssh.jpg</code>	Yes
プラグイン	VNC Connections	<code>#CSCOE+/help/vncconnections.jpg</code>	Yes

language は、ブラウザに表示される言語の省略形です。このフィールドは、ファイル変換には使用されません。ファイル内で使用される言語を示します。特定の言語コードを指定するには、ブラウザに表示される言語のリストからその言語の省略形をコピーします。たとえば、次の手順のいずれかを使用すると、ダイアログウィンドウに言語と関連の言語コードが表示されます。

- Internet Explorer を起動して、[Tools] > [Internet Options] > [Languages] > [Add] を選択します。
- Mozilla Firefox を起動して、[Tools] > [Options] > [Advanced] > [General] を選択し、[Languages] の隣にある [Choose] をクリックして、[Select a language to add] をクリックします。

フラッシュメモリへのヘルプファイルのインポート

手順

クライアントレス SSL VPN セッションで表示するために、フラッシュメモリにヘルプコンテンツファイルをインポートします。

import webvpn webcontent destination_url source_url

- *destination_url* は、「セキュリティアプライアンスのフラッシュメモリ内のヘルプファイルの URL」列の文字列です。
- *source_url* は、インポートするファイルの URL です。有効なプレフィックスは、ftp://、http://、および tftp:// です。

例

次の例では、TFTP サーバ (209.165.200.225) からヘルプファイル *app-access-hlp.inc* をフラッシュメモリにコピーします。この URL には英語の省略形である *en* が含まれています。

```
hostname# import webvpn webcontent /+CSCOPE+/help/en/app-access-hlp.inc
tftp://209.165.200.225/app-access-hlp.inc
```

フラッシュメモリにインポートされているヘルプファイルのエクスポート

手順

後で編集するために事前にインポートしたヘルプコンテンツファイルを取得します。

export webvpn webcontent source_url destination_url

- *source_url* は、「セキュリティアプライアンスのフラッシュメモリ内のヘルプファイルの URL」の文字列です。
- *destination_url* は **the target URL** です。有効なプレフィックスは、ftp:// と tftp:// です。最大文字数は 255 です。

例

次の例では、[Browser Networks] パネルに表示される英語のヘルプファイル file-access-hlp.inc を TFTP サーバ (209.165.200.225) にコピーします。

```
hostname# export webvpn webcontent /+CSCOE+/help/en/file-access-hlp.inc
tftp://209.165.200.225/file-access-hlp.inc
```

言語変換について

ASA は、クライアントレス SSL VPN セッション全体に対する言語変換機能を備えています。これには、ログイン、ログアウトバナー、およびプラグインおよび AnyConnect などの認証後に表示されるポータルページが含まれます。リモートユーザに可視である機能エリアとそれらのメッセージは、変換ドメイン内にまとめられています。次の表に、変換ドメインおよび、変換される機能領域を示します。

言語変換ドメインのオプション

変換ドメイン	変換される機能エリア
AnyConnect	Cisco AnyConnect VPN クライアントのユーザインターフェイスに表示されるメッセージ。
バナー	クライアントレス接続で VPN アクセスが拒否される場合に表示されるメッセージ。
CSD	Cisco Secure Desktop (CSD) のメッセージ。

変換ドメイン	変換される機能エリア
カスタマイゼーション	ログインページ、ログアウトページ、ポータルページのメッセージ、およびユーザによるカスタマイズが可能なすべてのメッセージ。
plugin-ica	Citrix プラグインのメッセージ。
plugin-rdp	Remote Desktop Protocol プラグインのメッセージ。
plugin-rdp2	Java Remote Desktop Protocol プラグインのメッセージ。
plugin-telnet,ssh	Telnet および SSH プラグインのメッセージ。
plugin-vnc	VNC プラグインのメッセージ。
PortForwarder	ポートフォワーディングユーザに表示されるメッセージ。
url-list	ユーザがポータルページの URL ブックマークに指定するテキスト。
webvpn	カスタマイズできないすべてのレイヤ 7 メッセージ、AAA メッセージ、およびポータルメッセージ。

ASA には、標準機能の一部である各ドメイン用の変換テーブルテンプレートが含まれています。プラグインのテンプレートはプラグインともに含まれており、独自の変換ドメインを定義します。

変換ドメインのテンプレートをエクスポートできます。これで、入力する URL にテンプレートの XML ファイルが作成されます。このファイルのメッセージフィールドは空です。メッセージを編集して、テンプレートをインポートし、フラッシュメモリに置かれる新しい変換テーブルオブジェクトを作成できます。

既存の変換テーブルをエクスポートすることもできます。作成した XML ファイルに事前に編集したメッセージが表示されます。この XML ファイルを同じ言語名で再インポートすると、新しいバージョンの変換テーブルが作成され、以前のメッセージが上書きされます。

一部のテンプレートはスタティックですが、ASA の設定に基づいて変化するテンプレートもあります。クライアントレスユーザのログオンおよびログアウトページ、ポータルページ、および URL ブックマークはカスタマイズが可能なため、**ASA generates the customization** および **url-list** は変換ドメインテンプレートをダイナミックに生成し、テンプレートは変更内容をこれらの機能エリアに自動的に反映させます。

変換テーブルを作成した後、このテーブルを使用して、カスタマイゼーションオブジェクトを作成し、グループポリシーまたはユーザ属性に適用できます。AnyConnect 変換ドメイン以外では、カスタマイゼーションオブジェクトを作成し、そのオブジェクトで使用する変換テー

ルを識別し、グループポリシーまたはユーザに対してそのカスタマイゼーションを指定するまで、変換テーブルは影響を及ぼすことはなく、ユーザ画面のメッセージは変換されません。AnyConnect ドメインの変換テーブルに対する変更は、ただちに AnyConnect クライアントユーザに表示されます。

変換テーブルの作成

シングル コンテキスト モードおよびマルチ コンテキスト モードの両方で変換テーブルを作成できます。

手順

ステップ 1 コンピュータに変換テーブル テンプレートをエクスポートします。

export webvpn translation-table

例：

次の例では、使用可能な変換テーブル テンプレートを示し、クライアントレス SSL VPN セッションのユーザに表示されるメッセージに影響を及ぼす customization ドメインのテンプレートをエクスポートします。作成される XML ファイルのファイル名は *portal* (ユーザ指定) で、次の空のメッセージフィールドが含まれています。

```
hostname# show import webvpn translation-table
Translation Tables' Templates:
customization
AnyConnect

PortForwarder
url-list
webvpn
Citrix-plugin
RPC-plugin
Telnet-SSH-plugin
VNC-plugin

Translation Tables:

hostname# export webvpn translation-table customization template
tftp://209.165.200.225/portal
```

ステップ 2 変換テーブルの XML ファイルを編集します。

例：

次の例は、*portal* としてエクスポートされたテンプレートの一部を示しています。この出力の最後には、メッセージのメッセージ ID フィールド (*msgid*) とメッセージ文字列フィールド (*msgstr*) が含まれています。このメッセージは、ユーザがクライアントレス SSL VPN セッションを確立するときにポータル ページに表示されます。完全なテンプレートには、多くのメッセージ フィールドのペアが含まれています。


```
# Copyright (C) 2006 by Cisco Systems, Inc.
#
#, fuzzy
msgid ""
msgstr ""
"Project-Id-Version: ASA\n"
"Report-Msgid-Bugs-To: vkamyshe@cisco.com\n"
"POT-Creation-Date: 2007-03-12 18:57 GMT\n"
"PO-Revision-Date: YEAR-MO-DA HO:MI+ZONE\n"
>Last-Translator: FULL NAME <EMAIL@ADDRESS>\n"
"Language-Team: LANGUAGE <LL@li.org>\n"
"MIME-Version: 1.0\n"
"Content-Type: text/plain; charset=UTF-8\n"
"Content-Transfer-Encoding: 8bit\n"

#: DfltCustomization:24 DfltCustomization:64
msgid "Clientless SSL VPN Service"
msgstr ""
```

ステップ3 変換テーブルをインポートします。

import webvpn translation-table

例：

次の例では XML ファイルがインポートされます。*es-us* は米国スペイン語の省略形です。

```
hostname# import webvpn translation-table customization language es-us
tftp://209.165.200.225/portal
hostname# !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
hostname# show import webvpn translation-table
Translation Tables' Templates:
AnyConnect
PortForwarder

customization
keepout
url-list
webvpn
Citrix-plugin
RPC-plugin
Telnet-SSH-plugin
VNC-plugin

Translation Tables:
es-us customization
```

AnyConnect ドメインの変換テーブルをインポートする場合、変更内容はすぐに有効になります。その他のドメインの変換テーブルをインポートする場合は、カスタマイゼーションオブジェクトを作成し、そのオブジェクトで使用する変換テーブルを指定して、グループポリシーまたはユーザに対してカスタマイゼーションオブジェクトを指定する必要があります。

カスタマイゼーションオブジェクトでの言語の参照

ここでは、カスタマイゼーションテンプレートを参照できるように、エクスポートし、編集して、カスタマイゼーションオブジェクトとしてインポートする方法について説明します。

始める前に

カスタマイゼーションオブジェクトでこれらの変換テーブルを正しく呼び出すには、テーブルが同じ名前ですでにインポートされている必要があります。これらの名前は、ブラウザの言語オプションと互換性がある必要があります。

手順

ステップ 1 編集作業ができる URL にカスタマイゼーションテンプレートをエクスポートします。

export webvpn customization template

次の例では、テンプレートをエクスポートし、指定した URL に *sales* のコピーを作成します。

```
hostname# export webvpn customization template tftp://209.165.200.225/sales
```

ステップ 2 カスタマイゼーションテンプレートの XML コードの 2 つのエリアが変換テーブルに関係します。カスタマイゼーションテンプレートを編集し、以前インポートした変換テーブルを参照します。

次の例では、使用する変換テーブルを指定します。

- XML コードの `<languages>` タグの後に、変換テーブルの名前を続けます。この例では、en、ja、zh、ru、および ua です。
- `<default-language>` タグによって、リモートユーザが ASA に接続したときに最初に表示する言語を指定します。上のコード例では、言語は英語です。

```
<localization>
  <languages>en, ja, zh, ru, ua</languages>
  <default-language>en</default-language>
</localization>
```

次の例は、言語セレクタの表示に影響を与え、`<language selector>` タグとそれに関連する `<language>` タグにより、言語セレクタをイネーブルにしてカスタマイズします。

- タググループ `<language-selector>` には、言語セレクタの表示をイネーブルおよびディセーブルにする `<mode>` タグや、`<title>` 言語を一覧表示するドロップダウンボックスのタイトルを指定するタグが含まれます。
- タググループ `<language>` には、`<code>` タグと `<text>` タグが含まれていて、言語セレクタドロップダウンボックスに表示される言語名と特定の変換テーブルをマッピングします。

```

<auth-page>
  ....
  <language-selector>
    <mode>enable</mode>
    <title l10n="yes">Language:</title>
    <language>
      <code>en</code>
      <text>English</text>
    </language>
    <language>
      <code>es-us</code>
      <text>Spanish</text>
    </language>
  </language-selector>

```

ステップ3 変更を行った後ファイルを保存します。

ステップ4 新しいオブジェクトとしてカスタマイゼーションテンプレートをインポートします。

import webvpn customization

例：

ステップ5 新しいカスタマイゼーションオブジェクト *sales* を表示します。

show import webvpn customization

例：

```

hostname# import webvpn customization sales tftp://209.165.200.225/sales
hostname# !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

```

カスタマイゼーションオブジェクトを使用するためのグループポリシーまたはユーザ属性の変更

ここでは、特定のグループまたはユーザに対して変更をアクティブにする方法について説明します。

手順

ステップ1 クライアントレス SSL VPN コンフィギュレーションモードに切り替えます。

webvpn

ステップ2 グループポリシーのクライアントレス SSL VPN コンフィギュレーションモードに切り替えます。

group-policy webvpn

ステップ3 カスタマイゼーションオブジェクトをイネーブルにします。

customization

例

次の例は、グループポリシー `sales` でカスタマイゼーションオブジェクト `sales` がイネーブルになっていることを示しています。

```
hostname(config)# group-policy sales attributes
hostname(config-group-policy)# webvpn
hostname(config-group-webvpn)# customization value sales
```